

## 「地元定着」に係る大学生からの意見聞き取りについて

東北公益文科大学から協力を得て、令和4年8月1日に学生から聞き取りを行った。概要は以下のとおり。

### [調査方法]

東北公益文科大学の2～3年生で「社会起業家論」を受講する学生10名<sup>\*</sup>を対象に、インタビュー調査を実施

※10名：[学年]3年生1名、2年生9名                      [性別]男性5名、女性5名  
                [出身]県内9名、県外1名

### 問1 起業案の概要について

庄内地域の課題に着目して、それを解決しようとするものがみられた。

- ・移住者向けの空き家事業
- ・子ども食堂の運営
- ・高齢者の起業支援                      等

### 問2 行政のどのような支援で改善するか

行政の役割を踏まえた意見が多かった。

- ・空き家情報など、行政の持つ情報の提供を受けたい
- ・起業案の広報支援
- ・地域との仲立ちをしてほしい
- ・資金の支援                              等

### 問3 大学卒業後に庄内に住むか。その理由は

「住む」が4名、「住まない」が6名だった。理由は以下のとおり。

#### [住む]

- ・家族が心配なため
- ・この地域が住み慣れているため
- ・山形県全体の良さを発信したい（県職員志望）

#### [住まない]

- ・情報系の就職先が庄内に少ない
- ・一度県外に出てみたい
- ・若者が好む施設が庄内に少ない

### 総括

- ・社会課題を探索し、解決しようとする姿勢が認められた
- ・行政に対するスタートアップ支援のニーズは強いものと感じられた
- ・卒業後に庄内に住む又は住まない理由については、それぞれ令和2年度県委託調査事業<sup>\*</sup>と同様の傾向がみられた

以上

※令和2年度「第4次山形県総合発展計画の推進に向けた人口減少の要因分析と今後の施策の展開方向の整理・分析に関する業務委託」